

## バイブルスタディ Pastor JD Farag

2018.08.12

マタイ 28:19 - 20「水の洗礼 本当の意味は？」

では、御言葉の学びを始めましょう。

大変楽しみなことに、今日は洗礼式を行うので、日曜日のエペソの学びをお休みにして、洗礼の意味について学びます。

また、“洗礼とは何か”、それからもっと重要な“何が洗礼ではないのか”という質問についてお答えしたいと思います。

その前に、神の祝福をお願いする祈りに参加して下さい。

愛する天のお父様、本当に感謝します。

あなたは良いお方。あなたの慈悲、ご好意、愛、優しさ、思いやりに感謝しきれません。

主よ、今日、いつもして下さるように、あなたにしかできない方法で、御言葉によって私たちを導いて下さい。

特に、今日ここにいる、傷ついている人たちに。

主よ、聖霊によって、私たちを慰めて下さいますように。

イエスの御名によって祈ります。アーメン。

皆さん、気づいているでしょうが、私たちの新しい教会で行う初めての洗礼式の準備がもうできています。用水路の中での洗礼ではありませんよ。



イエスの名で洗礼式を行います、イエスと一緒に家に帰るために洗礼を受けるものではありません。この意味が分かるでしょうか。

今日の洗礼式は、まず正面の芝生に出て、そこに集合します。

受洗の予定の方は、着替えやタオルを用意して下さい。

12時15分頃からランチなので、それが終わってから2時頃を予定しています。

勿論、牧師が延々と喋り続けて、第2礼拝終了が12時15分を過ぎてしまわないことが前提ですが。

私は日常の小さなことであっても全てを祈り、応えを頂いています。

皆さんの多くも私と同様に、大きいことも些細なことも祈っているでしょう。

私は、今日が本当に素晴らしい日になるように、先週ずっと祈っていました。

そして今朝、偉大な信仰者である私は天気予報を確認し、実際に歩いて、見て確かめましたが、外での洗礼式の間は素晴らしい天気恵まれるとのことでした。

ハリケーン・ヘクターの余韻はまだ残っていますが、それも南部に逸れ、ここを直撃しなかったこともまた、祈りの応えですね。

もし直撃していたら大変でした。

それはともかく、洗礼を受ける、受けないにかかわらず、皆さん、是非参加して下さい。  
教会として共に洗礼式を行いたいです。  
素晴らしいフェローシップの時となるでしょう。

では、洗礼とは何か、そして、何が洗礼ではないのかについて話しましょう。

① 洗礼は、イエス・キリストの信者、弟子のための聖書にある命令です。

“大宣教命令”と言われる箇所です。イエスは言いました。

### マタイ 28章 19節-20節

19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。

父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、

20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。

見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

アーメン。

② 洗礼は、心の中の決意、すなわち、自分はイエス・キリストの死、埋葬、復活を信じる者だというアイデンティティーを外に向かって宣言し、表すことです。

洗礼を受ける人は水の中に入って立ち、私がその人を水中に沈めます。

これは、自分はイエス・キリストの死と埋葬に与った者だという認識。

それから、私が起こして水から出ます。すぐに起しますよ。

それは、自分はイエス・キリストの復活に与ったのだという認識です。

だから私たちは、浸礼による洗礼を正しいと考えているのです。

### ローマ書 6章 1節-8節

ここは、“洗礼とは何か”を理解する鍵となる主要な箇所です。パウロがそれについて議論を持ちかけています。

1 それでは、どのように言うべきでしょうか。

恵みが増し加わるために、私たちは罪にとどまるべきでしょうか。

これは「罪があるところに恵みはもっとある」ということ。

2 決してそんなことはありません。

罪に対して死んだ私たちが、どうしてなおも罪のうちに生きていられるでしょうか。

3 それとも、あなたがたは知らないのですか。

キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたではありませんか。

この二つのバプテスマという言葉は、新約聖書の原語のギリシャ語で『Baptizo』（バプティツォ）

4 私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによってキリストとともに葬られたのです。

このバプテスマはバプティツォではなく『Baptismos』（バプティズモス）

それは、ちょうどキリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいのちに歩むためです。

5 私たちがキリストの死と同じようになって、キリストと一つになっているなら、キリストの復活とも同じようになるからです。

6 私たちは知っています。

私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだは滅ぼされて、私たちがもはや“罪の奴隷でなくなる”（これが鍵です）ためです。

7 死んだ者は、罪から解放されているのです。

8 私たちがキリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きることにもなる、と私たちは信じています。

さて、パウロが用いた二つのギリシャ語の違いを指摘したのは、これが洗礼の目的の本当の意味を説明しているためです。

『Baptizo』（バプティツォ）の意味は“少しの間 浸す（to dip/付ける）”

『Baptismos』（バプティズモス）は“一定時間 浸す（to soak/漬ける）”

これに関する説明と描写で、私が今までに聞いた中で一番いいのが、古代ギリシャのピクルスのレシピ。

バプティツォの意味は“to dip/付ける”少しの間 浸す。

これは、ギリシャ人が衣服を染めるために“染料にさっと浸す”ことを表現する言葉でした。

バプティズモスは“to soak/漬ける”一定時間 浸す。

ギリシャ人は、“一定期間浸す”ことで儀式に用いるものの清めを表す時の言葉として使っていました。

これが古代ギリシャのピクルスレシピです。

キュウリをさっと水に漬けても（バプティツォ、少しの間 浸す）、キュウリは変わりません。

単に浸るだけです。

逆に、同じキュウリを酢に漬ける（バプティズモス、一定時間 浸す）と、美味しいピクルスに変化します。

ここで、パウロは両方の単語を用いています。

バプティツォで肉体的に外見が変化することはありません。

しかし、キリストの死のバプティズモスを通して、彼と共に埋葬され、そして復活すると、内側から霊的な変化が起こります。

つまり、古い自分が霊的にキリストと共に埋葬され、今や、私たちが支配していた罪の力に対して死んだ者になるのです。

これは、もう私たちには罪がないという意味ではないですよ。理解して下さい。

もう二度と罪を犯さなくなるというのではなく、罪の束縛と捕われから解放されるということです。

更に重要なのが、キリストの死、埋葬、復活によって、罪の報酬である死から解放されたこと。

私たちは、今は、罪の力に対して死んだ者になっています。

なぜなら、私たちが責め立てる罪の力から、キリストにあって切り離されているからです。

**ローマ書 6章**で、パウロが興味深いことを聖霊によって書いていますが、ここは非常に重要でありながら、大きく誤解されている箇所です。

#### **14 罪があなたがたを支配することはないからです。**

これは、私たちがもう罪を犯す誘惑を受けないということではありません。絶対に違います。

これからも罪の誘惑を受けるでしょう。罪を犯すでしょう。

でもキリストにあって、キリストのゆえに、今起こっていることがある。

それは、罪による死の宣告はもうない！

罪があなたを捕らえることはない！

もう、罪に支配される奴隷ではない！

イエス・キリストが成し遂げて下さったことのゆえに。

次に、恐らくこれは非常に重要なことの一つで、実際よく聞かれる質問です。

“洗礼は救いに必要か”

これは“バプテスマの新生”で知られている偽教義で、基本的に“救われるためには、洗礼を受ける必要がある”というもの。

新生は、洗礼を受けるまでは起こらないという考えです。

はっきり言って悪いですが、これは全く、完全に、総合的にニセモノ。

そんなことは聖書には全く書いてありませんし、そのことに感謝します。

イエスは、十字架で私たち全員の罪の代価を全て支払って下さった時、「It is finished.」（完了した）の3語を口にされました。完結。

「完了した、しかし…」とか「もし～なら、完了した」とか「～した時、完了した」のような「コンマ（、）付き」ではなく、「完了した」

私はこれが我慢ならないのです。なぜなら、これは冒涇だから。

人間が自分で何かを成し遂げるといふ考えだから。

イエスが十字架上で言った「完了した」ということは嘘だったのですか。

完了していないから、コンマ付きでないと書けないのですか。

完了しているなら、あなたが自分の側でしなければならないことは何もないはずですよ。

もし完了していないなら、“コンマ付きの完了した”なら、自分でしなければならないことがまだあるということですよ。

### エペソ書 2章 8節 - 9節

**8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。**

**それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。**

**9 行いによるものではありません。誰も誇ることもないためです。**

私もあなたもできることは何もない。

イエスがしたのです。「完了した。完結した。」イエスが全てを支払って下さった。

私たちがそれに加えられるものなど何にもありません。

私たちが得ようとしてできることなど何もないのです。

救われるためにできる働きもない。行いもない。ものもない。

イエスが私たちのために、私たちの代わりにして下さったのです。

イエスの隣で十字架にかけられた罪人について書いてある箇所、その罪人はイエスに「御国に入る時、自分を思い出してほしい。」と頼みました。（ルカ 23:42）

イエスが彼に答えた言葉を聞いて下さい。

**イエスは彼に言われた。**

**「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」（ルカ 23:43）**

「わたしの隣にいるあなたが、その十字架から降りる方法を見つけれられるなら、降りて行って洗礼を受けてからここに帰って来なさい。そうしたら、かなえてあげよう。」

この不条理さ、バカらしさが分かりますか？

感情的になってすみません。

**ヨハネ 3:3** は有名な御言葉です。

イエスは答えられた。

**「まことに、まことに、あなたがたに言います。**

**人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」**

彼は、「まことに、まことに、あなたがたに言います。人は、新生して洗礼を受けないと、神の国に入ることはできない。」とは言っていません。

このように言うのは馬鹿げていると分かっていますが、皆さん、ポイントはつかんでいると思います。

新生しているなら、神の国に入るのです。

そこで今度は、救いに必要ないのなら、なぜ洗礼を受けるのかと思うでしょう。



洗礼についての別の質問ですが、これに取り組まなければなりません。

罪深い習慣を洗い流し、取り除くために、洗礼を受けなければならないのか。

その答えは、はっきりと “NO！”

もう一度言いますが、十字架で事はなされ、流されたキリストの血によって私たちは赦され、全ての罪は洗い流されたのです。

**I ヨハネ 1:9** は、クリスチャンの石鹸とされています。

**もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。**

残念ながら今の時代、イエスの血潮の力を賛美する教会を見つけることは困難になっています。

もう、歌われていない。私たちは賛美しますが。

血潮に力があります。血潮に力がある！

**血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。(ヘブル 9:22)**

ですからイエスは、私たちの代わりにご自分の血を流し、罪を贖い、赦し、全ての罪を洗って下さったのです。私たちが自己義でできることなど何もない。

事実、イザヤは「誰でも自分の義で神の前に立つなら、それは汚れた衣である。」と言いました。

**私たちはみな、汚れた者ようになり、その義はみな、不潔な衣のようです。(イザヤ 64:6)**

ここは、原語のヘブル語では大変生々しく描写されています。

では、締めくくります。

洗礼はイエス・キリストの死、埋葬、復活の象徴で、それは、結婚指輪が結婚していることを象徴しているようなものです。

私のはめている結婚指輪、これが私を結婚させるのではなくて、私は既婚者であるということのしるしですね。

このように、洗礼は自分が既に救われていることの象徴で、洗礼が人を救うではありません。

結婚指輪が人を結婚させるのではないのと同様に、洗礼が人を救うのではないのです。

そうではなく、“私は救われている” という象徴です。

最後の質問は、洗礼は一回以上受けることができるのか。

答えはモチロン “Yes！”

私は実際、今までに、洗礼を何回か受けてきました。

2 - 3 回ではなく、イスラエルに行くたびに洗礼を受けようとします。

ところで、主のみこころで、まだ地上にいるならイスラエルツアーは 11 月です。

一緒に行く人たちは、ヨルダン川で洗礼を受けられるでしょう。

はっきり言っておきますが、今日の洗礼式の水は、今朝確認したところ、ヨルダン川よりもずっと温かいですよ。

イスラエルの 11 月はとても寒いので、今日受洗するのはとてもいいですね。

11 月にイスラエルで再度受洗したいなら、それも素晴らしい。

何度でも洗礼を受ける理由は、救われ続けなければならないからではありません。

「私は救われている！」と公言したいからです。

それに、イエス・キリストと一つにされることを恥ずかしいと思わないから。

イエス・キリストの福音は恥ではないから。

約 2000 年前に、イエス・キリストが十字架で流された血潮によって、私が救われたことを宣言できるなら、どんな機会でも利用します。

でも、私は、今日は洗礼を受けません。

誰かが私を、イエスの名によって沈めようとはしないかも…ではありませんよ。

とにかく、今この礼拝にいる人で、今日、洗礼を受けようと思っていなかった、予定していなかったけれど、受けたと思うなら素晴らしいことです。

今から十分時間があるので、家に戻って服とタオルを取って来て、是非一緒に参加して下さい。

質問に明確に答えることができたことを願います。

お祈りして終わりましょう。

天のお父様、この機会を与えて下さりありがとうございます。

私たちは、何よりもまずあなたの命令に従います。

そして、私たちは神の霊で新生し、あなたの血潮の力で洗われて、あなたに属する者であることを宣言します。

主よ、今日の洗礼を祝福し、素晴らしい日にして下さい。

雨が降らず、風も強風ではなく、そよ風をお願いします。

主よ、特に今日、受洗される方々を感謝します。

イエスの御名によってお祈りします。

アーメン。

~~~~~  
**「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7**

メッセージ by JD Farag 牧師

カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 Rumi